

各位

本日の一連のプレスリリースについて
～ 遺伝子治療バイオファウンドリ™・サービスの本格展開を開始 ～

神戸大学発バイオベンチャーである株式会社シンプロジェン（本社：神戸市灘区、代表取締役社長 兼 CEO 山本 一彦、以下「シンプロジェン」という）は、独自の超長鎖 DNA 合成技術を活用し、高品質かつ低コストな遺伝子治療用ウイルスベクターの設計・開発・分析サービス（遺伝子治療バイオファウンドリ™・サービス）を提供しています。神戸 R&D センターにおいて、DNA 合成、プラスミド DNA 大量調製、ウイルスベクター作製、プロセス開発、特性解析・品質試験から GMP 準拠製造施設への技術移管まで、顧客のニーズに応じて幅広く対応しております。

本日、個別にプレスリリースしましたとおり、日本マイクロバイオファーマ株式会社とプラスミド DNA の GMP 製造について、またメルク社とウイルスベクターの GMP 製造について、協業を行う旨の MOU を締結いたしました。両社との連携によって遺伝子治療用ウイルスベクターの開発・生産バリューチェーンにおいて、シンプロジェンは遺伝子治療バイオファウンドリ™・サービスから GMP 製造までを視野に入れたワンストップ・ソリューションを顧客に提供することが可能となります。この流れを受けて、株式会社 VC Gene Therapy が早期実用化を目指す遺伝子治療用製品のプロセス開発及び品質試験法開発に関する案件を受注いたしました。



また本日付けで、株式会社みずほ銀行をリード投資家とし、ジャフコ グループ株式会社、ライフイクスアナリティカル株式会社、KISCO 株式会社の各社を引受先とする第三者割当増資（シリーズ C-1 ファイナンス）により、約 5 億 4,000 万円の資金調達を実施いたしました。これは 2023 年 2 月に実施予定のシリーズ C-2 ファイナンスと合わせたシリーズ C 資金調達計画の前半部分に相当します。

今回調達した資金は、最先端研究機器への設備投資や研究開発スタッフの増員等に有効活用し、遺伝子治療用ウイルスベクターの開発および製造基盤の構築に、より一層貢献してまいります。

株式会社シンプロジェンについて

株式会社シンプロジェンは、2017年に設立された神戸大学発の合成生物学ベンチャー企業です。独自のDNA合成技術「OGAB®法」「Combi-OGAB™法」を活用し、超長鎖・高難度のDNA合成や、多様な組合せのDNAライブラリーを構築することができます。また遺伝子治療に特化したバイオフィアウンドリとして、高品質かつ費用を抑えた遺伝子治療用ウイルスベクターの設計・開発・分析サービスを、神戸R&Dセンターにおいてワンストップ・ソリューションで提供しています。

所在地： 兵庫県神戸市灘区六甲台町1番1号
設立： 2017年2月
代表者： 代表取締役社長 兼 CEO 山本 一彦
資本金等： 23億2,568万円（資本準備金含む）
事業内容： DNA受託合成および遺伝子治療バイオフィアウンドリ™・サービス
URL： <https://www.synplogen.com/>

詳細につきましては各プレスリリースをご参照ください。

本件に関するお問い合わせ先
株式会社シンプロジェン
Email: info@synplogen.com